

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190700171		
法人名	医療法人 善成		
事業所名	グループホーム小葉音 橙季		
所在地	佐賀県鹿島市大字納富分2126-2		
自己評価作成日	令和 6 年2 月15 日	評価結果市町村受理日	令和6年 5月 13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	令和 6 年 3 月 22 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

*フットケア 毎月1回専門の先生に訪問していただき 足浴・爪切り マッサージ・角質除去・陥入爪・白癬等早くに発見 して頂き皮膚科受診に繋げています。
*お便り グループホームでの様子を写真と職員の手書きによる毎月の手紙
*小葉音新聞 (A3)での2ヶ月に1回の新聞発行

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホーム内は整理整頓されており清潔であると同時に、季節に合わせた飾り物が置かれ家庭的な雰囲気となっている。開設時から勤務している職員も多く、3ヶ月に1回のミーティングにはほぼ全職員が参加し意見交換が行われている。食事に関しては食器にもこだわり、食事の見た目も含めて、食べる楽しみを感じてもらえるように取り組んでいる。専門家によるフットケアが継続して行われており、爪や皮膚の状態をより良く保ち、健康寿命の延伸を目指した取り組みがなされている。普段から写真をよく撮ることで、家族への報告がより可視化されたものとなっており、家族との関係性も良好である。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	安らぎと温もりのある環境でその人の個性と思いやりを持って接するよう努めています。入居者様が安心して過ごせるよう日々努めています。	3ヶ月毎に法人の全体会を行い、入居者の状況などは共有している。しかし、理念については、掲示と唱和はなされていたが、実践と理念の繋がりを確認する取り組みは十分とは言えない。	理念の共有と実践に関して、職員全体で取り組み、今後も理念に沿ったより良い実践ができるよう、取り組みに期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染前までは、ボランティアの方に訪問していただき、入居者様と一緒に楽器を弾いたり、たいたり、唄ったり交流の場を設けていました。	現在、外部からのボランティアはないが、近所に対してのあいさつや声かけを行い、地域とのつながりを築いている。地域の清掃等にも参加していたが、不参加での負担金を納めることがほとんどになっている。	既存の地域との関わりを増やしたり、ボランティアと対面では難しくとも、ボランティアの方の作品を受け取る交流をするなど、コロナ禍でも行える地域交流の検討と取り組みに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナウイルス感染前までは、ボランティアの方に訪問していただき、入居者様と一緒に楽器を弾いたり、たいたり、唄ったり交流の場を設けていました。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス流行時は、書面での運営推進会議を行ってました。5月に移行になり最近是对面で実施できています。GHでの活動・計画・入居者様の状況を報告して、助言頂きサービスの向上に務めています。	隔月、行政機関も参加しての運営推進会議を行っている。参加者からの意見や提案があり、意見交換も行うことができている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議のメンバーの方に鹿島市役所の地域包括支援センターの職員さん・地域の区長さん・民生委員さんがいらっしゃいます。助言・意見を頂きサービスの向上に努めています。	救急搬送、誤薬が発生した際等には、市への報告を行っている。運営やケアについて市や保険者に相談することもあり、関係性が構築されている。近隣病院やケアマネの研修会等にも参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	GH小葉音 橙季は身体拘束ゼロの目標でケアを行っています。3か月毎のミーティングで職員再確認しています。	3ヶ月毎の法人の全体会時に、身体拘束に関する委員会を行っている。年2回身体拘束に関する研修会を内部で行い、外部研修がある際には職員が参加している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の内容を職員の目が届く所に掲げています。又入浴時など全身状態の観察も行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者様が安心して生活できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご家族様にリスク説明・入居料金・個人情報取り扱いなど…ご家族様に読んでいただき納得された後サインを頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談箱を下駄箱の上に置いています。また定期受診時・面会時に少しの時間でもご家族様の意見を聞くように努めています。	計画書を渡す際や家族対応の定期受診の際に、入居者の生活の様子を伝えると共に、ケアに関する要望の聞き取りを行うようにしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝の申し送り・伝達ノート・3か月ごとのミーティング時に意見をだして情報共有に努めています。良い意見は取り入れ改善に反映する事が出来ている。	3ヶ月毎の法人の全体会には、ほぼ全職員が参加し、活発な意見交換を行っている。伝達ノートを利用した情報共有も行うと共に、全職員が全業務を行えるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務表作成前に個々の希望を書き出してもらっています。有給休暇の希望も書き出してもらっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナウイルス感染症も5類に移行になり、勤務に支障がないよう外部の研修会に参加していただき個人のスキルアップに努めます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回(第4木曜日)グループホーム交流会で講師の方に来ていただき勉強会に参加しています。又他のグループホームの意見を聞いて良いところは参考にしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様・入居者様と、上手にコミュニケーションを取り、信頼関係が出来る様努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の定期受診の付き添い時、又、面会時等話し合いの場を設けご家族様の意見を取り入れる様努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様の困りごと・心配事・必要とされるところ…目を向けて支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は昼食時・休憩時には同席で過ごして家族の一員と思って生活しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月1回の個人便り・2ヶ月に1回の新聞発行、ご家族様が毎回楽しみに「ファイル」していると声掛けしていただきました。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	前は窓越しでの面会でしたが今回は玄関でお互いマスクをつけての面会となりました。その際にはご家族様との写真を撮りました。	入居者の知人や友人が面会に来ることもある。また入居者に馴染のある場所への外出も行っている。職員の手伝いで入居者が年賀状作成を行い、家族とのつながりの支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々性格が違うように、話が合う入居者様は自然に隣で話されたり…話が苦手な入居者様は職員が対応したり孤立させないように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了してもご家族様にはグループホームの近隣に来られた時には気兼ねなく立ち寄って下さいとお声掛けは行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様のこれまでに生活されてきた思い・こだわりなど・受け入れが出来る様努めています。	入居前の生活歴等アセスメントを行うと共に、入居者の思いや希望に沿えるよう努めている。また入居後の生活習慣にも留意し対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時情報・アセスメントを共有し個人の生活歴に目を向けてケアに繋げています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	3か月に1回のミーティング・申し送りノートを活用し情報共有に努めて本人の状況に応じた支援を行っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様・ご家族様の意見・要望・を聞いて介護計画作成している。	定期受診時や面会時に家族からの要望や意見を聞き取り、医師からの意見も介護計画に反映している。状態に変化があった時には、随時見直したり、更新時には家族へ説明し、確認してもらっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態・状況観察を行いケース記録に残し情報共有しケアの統一を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の個性・能力を勘案し柔軟な支援やケアに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣住民の方の協力を得ています。 例・防火訓練時の協力 例・警察・新聞配達員・郵便配達員		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの病院・医院を希望される。定期受診時毎日のバイタル・夜間の入眠傾向・食事量・尿量・身体状況等報告を行い連携を取っている。	家族対応で入居前のかかりつけ医を受診してもらっている。緊急時は近隣の急性期病院へ救急搬送しており、定期受診時には、日々のバイタル等を医療機関へ情報提供している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤に看護職の職員がいますので、入居者様の状態・急変時は報告・連絡を密に取っています。又病院受診には適切な診察・診療が受けられるよう支援を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院・退院時にカンファレンスを行い看護・介護サマリーを活用している。退院後のケアに共有している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご家族様に説明行い理解得ている。	現状では、看取りは行わない方針である。緊急時は近隣の急性期病院に救急搬送の方針であり、救急隊へ情報提供が迅速に行えるよう、情報提供の様式を事前に準備している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師・介護職と報告・連絡・相談し急変時は速やかに対応できるよう連携取っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災・防火訓練を年2回実施して地域の方に協力お願いしています。又近隣の方から「何かあったら協力します。」声掛けて頂く。	消防署協力のもと誘導の避難訓練は行っている。近隣から協力の申し出も受けているが、参加には至っていない。非常食の備蓄を行っており、他ホームとの交流会を活用し業務継続計画の作成にも取り組んでいる。	近隣の協力が得られるメリットは大きい。地域の代表者などへ相談して、避難訓練への参加等、地域協力が進む具体的な取り組みに期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊厳の気持ちを持って言葉使い・プライバシーに気を付けて対応しています。	同性介助を実施している。職員から入居者への声掛けは、職員相互に気を付け、入居者の尊厳を遵守できるよう心がけている。また個人情報に記載されたものは事務所で管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人違った性格、本人の気持ちに沿って支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時々入居者様に今日はどんなレク・遊びをしたのか聞くようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容に月1回来ていただいています。皆様すっきりとしたヘアスタイルになられます。又入浴後は皮膚に保湿剤を塗布したりスキンケアしています。入浴後の洋服も本人と一緒に準備しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地産地消の食材を使用しています。皆様ほとんど完食されます。湯飲み茶わん下げ・茶碗拭き等が出来る入居者様はお手伝いをされています。	共有スペースに隣接したキッチンで調理された食事は、見た目もよく食べる楽しみにも配慮している。調理は調理師が中心に行い、行事などの際には、入居者と一緒にピザ作りやおはぎ作りを行うこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	3度の食事時・10時・3時・入浴後・水分提供しています。又本人の希望時提供しています。但し病院から水分制限の入居者様は調整して提供しています。現在はいらっしゃいません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	3度の食後の口腔ケア・義歯磨き・舌磨き施行しています。口腔内異常時はご家族様に相談し歯科受診に繋がっています。現在は2名の方が受診されています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて、個々のパターンを見つけてトイレ誘導・声掛け行き気持ちよく過ごしてもらっています。	排泄チェック表を活用し、声掛けでトイレ誘導を行っており、個人の特性に合わせて対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便コントロールを行っています。 緩下剤→座薬 又水分・繊維質の食材を使った献立作成を行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の好みに応じた温度(40度・41度)湯船に入る時間も本人のペースで提供しています。但し湯あたりは気を付けています。ほとんどの入居者様は「気持ちよかった」と言葉が聞かれます。	入居者は2グループに分かれ、週3回入浴している。本人の体調に合わせて、曜日や順番を調整しながら実施している。入浴時は入浴剤を使用し、心地よい時間になるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に応じた居室の温度を調節したり、寝具調節・灯り調節と気持ちよく休んでいただくよう努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は個人の薬の内容・効能・副作用等お薬説明書は目を通して見ます。又薬の変更時は申し送りノートに記載しています。誤薬がないよう名前・日付・再確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	マンネリ化のレクにならないようその日のレク担当者は思考施策で入居者様が楽しむ・喜ぶ内容を取り入れています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス流行時は車中でのドライブでしたが5類になってからは、穏やかな日には車外に出てベンチに座って会話したり楽しく過ごされています。	天候が良い日にはドライブに行き、目的地で過ごしてもらっている。またホーム前の駐車場で日向ぼっこを行い、移動が伴わなくても外気に触れることのできる取り組みが行われている。様子は写真に撮り、家族へ報告している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理はほとんどご家族様がされています。入居者様の必要なものはグループホームで立替で購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様の希望時は、電話を掛ける支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの3人掛けの椅子は常時くつろげる状態にしています。室温・照明・ブラインドで調節して気持ちよく過ごして頂いて居ます。	共有スペースには駐車場側が見える大きな窓があり、開放的な雰囲気であり、整理整頓が図られ、清潔感がある。昼寝時は、環境や職員の足音に気を付け、入居者がゆっくりとした時間を過ごせるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様は午後からソファで過ごされたり又居室でテレビ見たりゆっくりすごされます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人様が使い慣れた衣装タンス・衣装ケース・ハンガーラック等持ち込まれています。	コロナ禍で家族の入室は許可していなかったが、今後は許可する予定である。写真など馴染のものを積極的に配置し、日中は、ポータブルトイレは居室内に置かず、心地よく過ごせるように留意されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	グループホームはバリアフリーで居室は転倒・転落がないよう足元は整理整頓行い安心かつ安全な生活が送れるよう工夫しています。		